

第6回 規約検討委員会の概要

日時：平成26年2月19日（水）16：00～18：00

場所：経済産業省 2西3 共用会議室

出席：関係団体

（全国い生産団体連合会、全日本畳事業協同組合（2名）、全国い製品卸商業団体連合会（2名）、全国畳材料卸商組合連合会、全国畳材商社会、全日本JIS 畳床工業協同組合、全日本ISO 畳振興協議会（2名））

：オブザーバー

（日本繊維板工業会、押出発泡ポリスチレン工業会、日本規格協会、農林水産省）

議事概要：

1 畳類公正競争規約原案の逐条検討

前回提案に沿って情報伝達のイメージ図をベースに議論を行い、

- ・流通、販売の各段階で仕入と販売を関連づけることが必要であること、
- ・畳店に提供される様式は統一にすることや、記載内容を増やさないことなど、畳店が導入しやすい配慮が必要であること
- ・出荷証明書のコピー等考えられる不正防止をチェックする仕組みが必要であること、
- ・畳床については、必要事項を記載していれば別途の出荷証明書でなく、納品書で代替可能とすること、

等の意見が出た。また、出荷証明書の表示について

- ・規格については5種類（麻、麻W、綿、綿W、麻綿）とすること、
- ・国産畳表、輸入畳表ともに生産者名もしくは輸入者名を記載し、番号は入れないこと、
- ・国産畳表の住所については入れないこと、
- ・輸入畳表の製織地についてはいぐさ原産国と別に表示する原案通りとすること、

等の意見が出され、結果、情報伝達の表示等の基本線については概ね合意に達した。

また、そのほかの点については、

- ・設立総会において配付された資料の畳類公正取引協議会の法人化準備とは協議会を設立する趣旨であって、社団法人等にする必要があるという趣旨ではない。点が確認された。

2 次回の日程について

3月13日（木）13：30頃開催予定。